

ヤマホール S

株式会社 ヤマワ

地下の有効利用が求められる現在において、シールド工法、推進工法はますます重要性を帯びてきています。しかし施工環境は厳しくなっており、作業効率の向上、作業スペースのコンパクト化が求められております。

「ヤマホール S」は、このような現場の要望にお応えする事が出来る商品として開発されました。ぜひご使用賜りますようお願い申し上げます。

ヤマホール Sの特長 ー粉体化 (25kg袋入り) にすることにより

- ・ 何種類もの材料を用意する必要がありません。
- ① 省スペース化が図れます。
- ② 少量で作液する事が出来、作業効率の向上が図れます

ヤマホール Sの標準配合

標準配合 (粉末粘土との併用)

1m³ あたり

	土質による区分						
	A(粘性土)	A(砂質土) B(砂質土)	G(軟岩)	C	D	E	F
ヤマホール S	0kg	20kg	10kg	20kg	20kg	25kg	25kg
粉末粘土	0kg	120kg	0kg	120kg	150kg	150kg	180kg
離間剤	1kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg
水	999L	942L	995L	942L	930L	927.5L	915.5L
練り上がり比重	1.00	1.08	1.01	1.08	1.10	1.10	1.12

離間剤＝粘土付着防止剤 (カイコー 1・2、またはネントール P-L、ネントール L-L)

土質区分		土質条件	
粘性土 砂質土	A	N値 30 未満 N値 50 未満	最大礫径が 20mm以下 礫含有率 10%以下
	B	N値 30 以上 N値 50 以上	最大礫径が 75mm以下 礫含有率 20%以下
粗石混じり 礫質土	C	最大礫径が管呼び径の 30%以下 礫含有率 30%以下	
巨石混じり ・砂礫土	D	最大礫径が管呼び径の 50%以下 礫含有率 50%以下 一軸圧縮強度 100MN/m ² 以内	
	E	最大礫径が管呼び径の 80%以下 礫含有率 70%以下 一軸圧縮強度 200MN/m ² 以内	
	F	最大礫径が管呼び径の 120%以下 礫含有率 90%以下 一軸圧縮強度 200MN/m ² 以内	
軟岩	G	一軸圧縮強度 40MN/m ² 以内	

(裏面につづく)

使用方法

1. 標準配合にもとづき、ミキサーに清水を入れてください。
2. ミキサーを回転させながら、ヤマホール S を規定量添加してください。
3. ヤマホール S がしっかり混ざったら粉末粘土を規定量添加してください
4. 十分攪拌させれば泥水は出来上がります（攪拌時間は約5分程度）

ヤマホール S の外観および荷姿

ヤマホール S の外観	黄白色粉体
ヤマホール S の荷姿	25 k g 紙袋

使用上の注意

- ・ 防塵マスク、防塵メガネを着用の上、取扱下さい。
- ・ 目に入った場合、皮膚についた場合は清水で15分以上洗ってください。
- ・ 吸い込んだり飲み込んだりしたら、吐き出させた後、医者診察を受けて下さい。
- ・ 製品その物は無害ですが、お取り扱いには十分注意して下さい。

株式会社 ヤマワ
岐阜県土岐市土岐津町1372-1
Tel 0572-55-2191
Fax 0572-54-5100